

		諸元			機能
		単位室面積	室数	室面積	
普通教室	普通教室	64.0	12	768.0	<ul style="list-style-type: none"> 各学年2クラスとする 各教室とも自然通風ができるように配慮し、2面採光が望ましい 床仕上材は木製とする 教室と廊下の間仕切りは可動開放型とする 児童用ロッカーを人数分(43以上)設置し、教師用及び備品ロッカーを備える
	支援教室	64.0	4	256.0	<ul style="list-style-type: none"> 落ち着いた環境がよいが、ある程度児童同士の交流ができる位置に配置する 一部畳敷きのコーナーを設ける 各教室は、アコーデオンカーテン等で間仕切れるよう配慮する 避難がしやすい1階に設置すること。
	同上シャワー・WC 同上倉庫	32.0	2	64.0	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教室に付属させる
	ふれあい教室	66.0	3	198.0	<ul style="list-style-type: none"> 学童保育用とする キッチンスペース、手洗い場を設け、それ以外の部分は畳敷きとする 静養スペース(間仕切りあり)を設ける
学習室	英語教室	64.0	1	64.0	<ul style="list-style-type: none"> 英語の学習用教室とする 普通教室としても使用できるよう、普通教室と同様の仕様とする
	少人数教室(算数、国語)	64.0	2	128.0	<ul style="list-style-type: none"> 国語、算数の少人数学習用教室とする 普通教室としても使用できるよう、普通教室と同様の仕様とする
	図書室	128.0	1	128.0	<ul style="list-style-type: none"> 児童の自発的学習を促進するため可能な限り開放的で、学習の中心となる位置に設けることが望ましい 読書センター、学習センター、情報センターの機能を持った室とする 10,000冊程度の蔵書を開架式で配置する。書架のタイプは低書架。閲覧テーブル・椅子の台数は45とする 書架の配置はカウンターから死角にならないことが望ましい
	学年室	64.0	3	192.0	<ul style="list-style-type: none"> アクティブラーニング等多様な学習スペースとして利用 各学年の学用品置場、更衣室としての使用も考慮する
校舎棟 特別教室	図工室	96.0	1	96.0	<ul style="list-style-type: none"> 絵画、彫塑、工作など多様な活動に対応できる教室とする 作品展示スペースを設ける 多様な授業形態対応への配慮を行う 流し、給排水設備を設け、排水はプラスタートラップを設置する 作品保管のスペースを設ける。また、画用紙乾燥用棚について配慮する 天井にダクトレールを設置する等、フレキシブルなコンセント配置とする
	図工準備室	32.0	1	32.0	<ul style="list-style-type: none"> 流し、給排水設備を設ける
	理科室	96.0	2	192.0	<ul style="list-style-type: none"> 実験台に給排水、ガス、電気設備を行う 耐水、耐薬品性の床材とする 実験器具などの収納棚を配置する 天井にダクトレールを設置する等、フレキシブルなコンセント配置とする
	理科準備室	32.0	2	64.0	<ul style="list-style-type: none"> 流し、給排水設備を設ける 薬品庫の施錠に配慮する
	家庭科(調理)室	96.0	1	96.0	<ul style="list-style-type: none"> 食器棚などの配置を行う 給排水、電気、ガス設備のある調理台(電気オープン付)を設置する 水濡れに対応した床材とする 被服教室としても使用するため、ミシンの収納スペースを確保する 天井にダクトレールを設置する等、フレキシブルなコンセント配置とする
	家庭科(調理)準備室	32.0	1	32.0	<ul style="list-style-type: none"> 流し、給排水設備を設ける
	音楽教室	96.0	2	192.0	<ul style="list-style-type: none"> 床はフラットでフローリングとし、コンサートなどへの対応も考慮する 防音や音響効果に配慮した内装仕上げとする 楽器の搬入に対応したドア幅を確保する
	音楽準備室	32.0	1	32.0	<ul style="list-style-type: none"> 主に楽器庫としても利用
	PC教室	96.0	1	96.0	<ul style="list-style-type: none"> フリーアクセスフロア+タイルカーペットとする 児童用パソコン40台、教師用パソコン1台の配置を考慮する PC教室用の電気は専用回路とする 管理を目的として施錠を行うが開放的なイメージの教室とする
	PC準備室	32.0	1	32.0	<ul style="list-style-type: none"> フリーアクセスフロアとする
	視聴覚室	128.0	1	128.0	<ul style="list-style-type: none"> 学年集会(約100人)や保護者集会あるいは軽運動の場を想定し、床はフラットでフローリングとする。 AV(Audio Visual)設備を設置する スクリーンを設置する
	視聴覚準備室	32.0	1	32.0	<ul style="list-style-type: none"> 機材等の収納スペースを確保する。
	教材庫	適宜		適宜	<ul style="list-style-type: none"> 各階に教材庫(倉庫)を設置する ・普通教室の近くに配置すること。
	管理諸室	一般玄関	適宜		適宜
児童玄関		適宜		適宜	<ul style="list-style-type: none"> 全校児童のはきかえを可能とするスペースを確保し、上足と下足を収納する下足箱を設置する 段差のない床とする 下足箱とともに傘たてを設置する グラウンドとの動線に配慮すること
職員室		120.0	1	120.0	<ul style="list-style-type: none"> 全教員のための職員室とする(全教員のデスク配置) グラウンド、校門が見える位置に配置することが望ましい 児童や教職員同士のコミュニケーションが図れるラウンジ的なコーナーを設けることが望ましい(湯沸しコーナーを付属させる) 床はフリーアクセスフロアとする
校長室		32.0	1	32.0	<ul style="list-style-type: none"> 職員室に隣接して配置する 応接機能をもたせる 耐火金庫および成績保管庫置場を考慮する
事務室		20.0	1	20.0	<ul style="list-style-type: none"> 事務職員のスペースとし、個人情報に関する資料を取り扱うことを考慮する 職員室に隣接して配置する
保健室		64.0	1	64.0	<ul style="list-style-type: none"> 十分な採光が得られることが望ましい 職員室、相談室と近接することが望ましい 運動場に面し、出入り口を設置することが望ましい フトン、薬品、カルテ等の収納する棚の設置
児童会室		64.0	1	64.0	<ul style="list-style-type: none"> 児童会活動のための拠点となる
PTA室		64.0	1	64.0	<ul style="list-style-type: none"> PTA活動のための拠点となる
地域交流室		96.0	1	96.0	<ul style="list-style-type: none"> 地域活動のための拠点となる 外部から直接出入り出来る仕様とする
統合記念室		32.0	1	32.0	<ul style="list-style-type: none"> 閉校となる学校の記念物や歴史的資料を展示する 誰もが気軽に立ち寄れることができるスペースとし、共用部に設置することも可とする
放送室		20.0	1	20.0	<ul style="list-style-type: none"> 児童、教員それぞれが使用し、職員の管理部門に近接して配置する グラウンドに面して配置する

	諸元			機能		
	単位室面積	室数	室面積			
校舎棟	相談室1・2	20.0	2	40.0	・落ち着いた相談できる位置に配置する ・プライバシーに配慮して人通りの多い動線の近くは避けて配置する	
	倉庫	適宜	1	適宜	・倉庫、印刷室は分離して配置することも可能である ・印刷室は職員室に近接して配置することが望ましい	
	印刷室	適宜	1	適宜	・印刷機3台程度を設置できるスペースとする	
	多目的ルーム(交流ルーム)	96.0	1	96.0	・クラス単位でゆったり食事できること ・配膳室からの動線に配慮する ・地域利用も想定し、動線に配慮する	
	会議室1	64.0	1	64.0	・全教職員での会議室として利用する ・職員室の近くに配置することが望ましい	
	会議室2	32.0	1	32.0	・部会等を開催する小会議室として利用する	
	職員更衣室(男)	25.0	1	25.0	・男女別の教職員用の更衣休養室とし、一部置コーナーを設置する	
	職員更衣室(女)	45.0	1	45.0	・手洗い、流し(給排水)を設置する	
	校務員室	64.0	1	64.0	・使用する器具の収納スペースを確保する ・校務員用の休養室としても利用することから、一部置コーナーを設置する	
	配膳室(1階)	80.0	1	80.0	・1階に設置する ・各階にワゴンを運搬する小荷物用昇降機を設置する ・施錠が出来るものとする ・給食運搬車用のプラットホームを設置する	
	配膳室(1階以外)	25.0	-	適宜	・1階以外の各階に設置する ・1階からワゴンを運搬する小荷物用昇降機を設置する ・施錠が出来るものとする	
	電気・機械室	適宜		適宜	・給水設備、空調設備、電気設備の各設備に対応し、維持管理が容易な位置と広さを確保する	
	WC	適宜		適宜	・児童用、教職員・外来者用WCを設置する ・洋式便器とし、大便器、小便器、手洗いは人感センサー方式とする。ブース(男女共)には擬音装置を設置する ・床はドライ方式とし、バリアフリー対応とする ・可能な限り自然採光を確保する ・照明および換気扇スイッチは人感センサーとする ・普通教室と特別教室が混在するフロアにおいては、学年ごとの利用のしやすさに配慮すること	
	多目的WC	適宜		適宜	・車いす使用可能な府条例適合多目的WCを設置し、オストメイト対応設備を配備する	
EV	適宜		適宜	・府条例適合の車椅子対応EVを設置する		
廊下・階段			適宜	・児童の発表の場となるような階段状のスペースを設置する ・十分な廊下幅を確保し、ベンチや手洗い、展示スペースなどを設置する ・行き止まりのない動線構成とする ・普通教室まわりに資料配置やコミュニケーションの図れるスペースやクールダウンスペースを廊下の一部として検討する ・児童等が視覚的に階数を判断できるような階数表示、色彩による表示等が望ましい		
校舎棟面積合計				5,500.0		
アリーナ棟	アリーナ	750.0	1	750.0	・バスケットボールコート(正式1面・練習用2面)、バレーボールコート(2面) ・天井高さは8.5m以上確保する ・照明器具はLEDとし防護ネット付とする ・自然採光、通風に配慮するとともに、風雨による雨漏り等がない構造とする ・屋根面の断熱、防音に配慮し、残響時間は講演会などに支障のない程度とする ・地域開放ができるような管理区分(動線や施錠)を行う ・グラウンドとの関連性に配慮する	
	ステージ	90.0	1	90.0	・ステージ下部に椅子収納台車を格納する ・舞台機構として緞帳、一文字幕、袖幕、霞幕、スクリーンおよびバトンを設置する ・一文字幕には校章を施す ・舞台上部の照明器具や舞台機構の維持管理のためキャットウォークを設置する	
	器具庫			80.0	・グラウンド用も考慮する ・出入口に近い場所に設置するのが望ましい	
	体育放送室	適宜	1	適宜	・ステージ横に設置し、4回線のマイクを使用できるようにする。	
	アリーナ玄関	適宜	1	適宜	・地域開放を前提とした玄関とする ・床段差は解消させる ・来訪者用下足箱を設置する	
	ギャラリー等	適宜	1	適宜	・アリーナにギャラリーを設置する場合は、軽運動、展示などに活用できるスペースとする	
	WC・多目的WC			適宜	・男女別および多目的WCを設置する ・グラウンド使用時(土足)対応を考慮する	
	廊下・階段					
	アリーナ棟面積合計				1,200.0	
プール棟	プール				・25m6コース、水面積325㎡程度とする ・仕様は(財)日本水泳連盟プール公認規則に定める標準競泳プールに準じる ・水深は公認規則に準じる ・プール本体の素材はFRPとする ・災害時に飲料水を供給できる機能を有した「浄水型水泳プール」とする ・スタート台は着脱式とする ・循環ろ過設備および滅菌装置を設け、水質管理を十分に行えるようにする ・排水口や循環ろ過吸水口の安全性を確保する ・非常用の取り出し口に濾過器を設置すること。	
	プールサイド				・床は防滑性の高い材料とし、日射により熱くなりにくい仕様とする ・準備体操ができる広さを確保する ・日除け庇(プールサイド長辺1辺程度)と見学者用ベンチを設置する ・洗体シャワーを設置するほか、車椅子用シャワーも設置する ・周囲からの視線を遮る工夫を行う	
	プール更衣室(男子+女子)	適宜	2	適宜	・男女別とする ・双方および外部から見透かせない構造とする	
	プール器具庫			適宜	・コースロープなど収納するために十分な広さを確保する	
	WC・多目的WC	適宜	2	適宜	・男女別及び多目的WC設置する	
	階段				・プールを上階に設置する場合は単独で1階まで避難が可能な直通階段を設置する	
	プール棟面積合計				150.0	
	外部	正門・通用門				・カメラ付インターホン(録画機能付)を設置する
グラウンド					・200mトラック、サッカーコート確保すること。 ・鉄棒、うんてい、のぼり棒、ジャングルジム、ブランコ、シーソー、すべり台等の遊具を設置すること。 ・砂場のほか、低学年の遊び場となるスペースを提案し、確保すること	
外部倉庫		適宜	2	適宜	・学校利用以外にPTAも利用する倉庫とする	
災害用備蓄倉庫		30.0	1	30.0	・耐震性を有し、耐火建築物とする ・備蓄品の搬出が迅速に行える構造とする ・非常用電源設備を設けること ・アリーナ棟に併設または近接して配置することが望ましい	
受付ボックス		10.0	1	10.0	・学校の受付の業務を担う学校安全員の待機場所とする ・正門に近接して設置する	
外部面積合計				180.0		
全体面積合計				7,030.0		

		諸元			機能
		単位室面積	室数	室面積	
小学校用スペース	ふれあい教室	66.0	3	198.0	<ul style="list-style-type: none"> ・学童保育用とする ・キッチンスペース、手洗い場を設け、それ以外の部分は畳敷きとする ・静養スペース(間仕切りあり)を設ける ・1階以外に設置する場合は単独で1階まで避難、移動が可能な直通階段を設置する
	児童会室	64.0	1	64.0	・児童会活動のための拠点となる
	PTA室	64.0	1	64.0	・PTA活動のための拠点となる
	倉庫	適宜		適宜	
	WC	適宜		適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・児童用WCを設置する ・洋式便器とし、大便器、小便器、手洗いは人感センサー方式とする。ブース(男女共)には擬音装置を設置する ・床はドライ方式とし、バリアフリー対応とする ・可能な限り自然採光を確保する ・照明および換気扇スイッチは人感センサーとする
	多目的WC	適宜		適宜	・車いす使用可能な府条例適合多目的WCを設置し、オストメイト対応設備を配備する
中学校用スペース	少人数教室	64.0	1	64.0	<ul style="list-style-type: none"> ・英語、数学、国語等の少人数学習用教室として利用する ・自然通風ができるように配慮し、2面採光が望ましい ・床仕上げ材は木製とする
	生徒会室	64.0	1	64.0	・生徒会活動のための拠点となる
	PTA室	64.0	1	64.0	・PTA活動のための拠点となる
	会議室	160.0	1	160.0	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校の教職員の会議、研修の場として利用する ・AV(Audio Visual)設備を設置する ・スクリーンを設置する
	倉庫	適宜		適宜	
	WC	適宜		適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒用WCを設置する ・洋式便器とし、大便器、小便器、手洗いは人感センサー方式とする。ブース(男女共)には擬音装置を設置する ・床はドライ方式とし、バリアフリー対応とする ・可能な限り自然採光を確保する ・照明および換気扇スイッチは人感センサーとする
小中連携棟 共用スペース	多目的ルーム(交流ルーム)	160.0	1	160.0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の交流の場として利用する ・約100人の集会あるいは軽運動の場を想定し、床はフラットでフローリングとする。 ・AV(Audio Visual)設備を設置する ・スクリーンを設置する ・クラス単位でゆったり食事できること ・地域利用も想定し、動線に配慮する
	多目的ルーム付属倉庫	適宜		適宜	100名程度の机、椅子が収容できる広さを確保する
	地域交流室	96.0	1	96.0	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動のための拠点となる ・外部から直接出入り出来る仕様とする
	WC	適宜		適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒用、教職員・外来者用WCを設置する ・洋式便器とし、大便器、小便器、手洗いは人感センサー方式とする。ブース(男女共)には擬音装置を設置する ・床はドライ方式とし、バリアフリー対応とする ・可能な限り自然採光を確保する ・照明および換気扇スイッチは人感センサーとする
	多目的WC	適宜		適宜	・車いす使用可能な府条例適合多目的WCを設置し、オストメイト対応設備を配備する
	湯沸室	適宜	1	適宜	
	EV	適宜		適宜	・府条例適応の車椅子対応EVを設置する
	廊下・階段			適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な廊下幅を確保し、ベンチや手洗い、展示スペースなどを設置する ・行き止まりのない動線構成とする ・普通教室まわりに資料配置やコミュニケーションの図れるスペースやクールダウンスペースを廊下の一部として検討する ・児童等が視覚的に階数を判断できるような階数表示、色彩による表示等が望ましい
全体面積合計				1,400.0	

		諸元			機能
		単位室面積	室数	室面積	
アリーナ部分	アリーナ	750.0	1	750.0	<ul style="list-style-type: none"> ・バスケットボールコート(正式1面・練習用2面)、バレーボールコート(2面) ・天井高さは8.5m以上確保する ・照明器具はLEDとし防護ネット付とする ・自然採光、通風に配慮するとともに、風雨による雨漏り等がない構造とする ・屋根面の断熱、防音に配慮し、残響時間は講演会などに支障のない程度とする ・地域開放ができるような管理区分(動線や施錠)を行う ・グラウンドとの関連性に配慮する
	ステージ	90.0	1	90.0	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージ下部に椅子収納台車を格納する ・アリーナからステージに上がる階段は可動式とする ・舞台機構として緞帳、一文字幕、袖幕、霞幕、スクリーンおよびバトンを設置する ・一文字幕には校章を施す ・舞台上部の照明器具や舞台機構の維持管理のためキャットウォークを設置する
	器具庫			80.0	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド用も考慮する ・出入口に近い場所に設置するのが望ましい
	体育研究室	適宜	1	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド、アリーナに面する位置に配置することが望ましい ・シャワー室を設置する
	体育放送室	適宜	1	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・ステージ横に設置し、4回線のマイクを使用できるようにする。
	アリーナ玄関	適宜	1	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・地域開放を前提とした玄関とする ・床段差は解消させる ・来訪者用下足箱を設置する
	ギャラリー等	適宜	1	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・アリーナにギャラリーを設置する場合は、軽運動、展示などに活用できるスペースとする
	WC・多目的WC			適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・男女別および多目的WCを設置する ・グラウンド使用時(土足)対応を考慮する
	廊下・階段				
アリーナ部分面積合計				1,200.0	
プール部分	プール			570.0	<ul style="list-style-type: none"> ・25m6コース、水面積325㎡程度とする ・仕様は(財)日本水泳連盟プール公認規則に定める標準競泳プールに準じる ・水深は公認規則に準じる ・プール本体の素材はFRPとする ・災害時に飲料水を供給できる機能を有した「浄水型水泳プール」とする ・プール上部に開閉式上屋を設置する ・シーズンオフ時に多目的利用が可能なるよう、床上利用型可動床を設置する ・スタート台は着脱式とする ・循環ろ過設備および滅菌装置を設け、水質管理を十分に行えるようにする ・排水口や循環ろ過吸水口の安全性を確保する ・非常用の取り出し口に濾過器を設置すること。
	プールサイド				<ul style="list-style-type: none"> ・床は防滑性の高い材料とし、日射により熱くなりにくい仕様とする ・準備体操ができる広さを確保する ・見学者用ベンチを設置する ・洗体シャワーを設置するほか、車椅子用シャワーも設置する ・周囲からの視線を遮る工夫を行う
	プール更衣室(男子+女子)	適宜	2	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・男女別とする(それぞれ30名程度が利用すると想定) ・双方および外部から見透かせない構造とする
	プール器具庫			適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・コースロープなど収納するために十分な広さを確保する
	WC・多目的WC	適宜	2	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・男女別及び多目的WC設置する
	EV	適宜		適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・府条例適応の車椅子対応EVを設置する
	階段				<ul style="list-style-type: none"> ・単独で1階まで避難が可能な直通階段を設置する
プール部分面積合計				720.0	
その他	多目的ルーム(交流ルーム)	160.0	1	160.0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の交流の場として利用する ・約100人の集会あるいは軽運動の場を想定し、床はフラットでフローリングとする。 ・AV(Audio Visual)設備を設置する ・スクリーンを設置する ・クラス単位でゆったり食事できること ・地域利用も想定し、動線に配慮する
	多目的ルーム付属倉庫	適宜		適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・100名程度の机、椅子が収容できる広さを確保する
	地域交流室	96.0	1	96.0	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動のための拠点となる ・外部から直接出入り出来る仕様とする
	クラブ活動用倉庫	15.0	20	300.0	<ul style="list-style-type: none"> ・利用するクラブ数は20とし、1クラブあたり15㎡程度の広さとする ・倉庫内に荷物を置くことができる棚を設置する ・別棟として整備することも可とし、その場合の配置は提案とする
	階段				<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて設置する
その他部分面積合計				660.0	
全体面積合計				2,580.0	

	諸元			機能	
	単位室面積	室数	室面積		
プール棟	プール			<ul style="list-style-type: none"> ・25m6コース、水面積325㎡程度とする ・仕様は(財)日本水泳連盟プール公認規則に定める標準競泳プールに準じる ・水深は公認規則に準じる ・プール本体の素材はFRPとする ・スタート台は着脱式とする ・循環ろ過設備および滅菌装置を設け、水質管理を十分に行えるようにする ・排水口や循環ろ過用吸水口の安全性を確保する ・非常用の取り出し口に濾過器を設置すること。 	
	プールサイド			<ul style="list-style-type: none"> ・床は防滑性の高い材料とし、日射により熱くなりにくい仕様とする ・準備体操ができる広さを確保する ・日除け庇(プールサイド長辺1辺程度)と見学者用ベンチを設置する ・洗体シャワーを設置するほか、車椅子用シャワーも設置する ・周囲からの視線を遮る工夫を行う 	
	プール更衣室(男子+女子)	適宜	2	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・男女別とする ・双方および外部から見透かせない構造とする
	プール器具庫			適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・コースロープなど収納するために十分な広さを確保する
	WC・多目的WC	適宜	2	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・男女別及び多目的WC設置する
	階段				<ul style="list-style-type: none"> ・プールを上階に設置する場合は単独で1階まで避難が可能な直通階段を設置する
	プール棟面積合計			150.0	

	諸元			機能	
	単位室面積	室数	室面積		
地域開放型図書室	276.0	1	276.0	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の利用だけでなく、地域住民も利用可能な地域開放型図書室とする ・放課後、休校日での利用も想定し、室周辺も含めてセキュリティに配慮した計画とする ・地域住民の動線、利用できる範囲等については参考資料23「くすのき小学校地域開放型図書館について」を参照すること 	
プール棟	プール			<ul style="list-style-type: none"> ・25m6コース、水面積325㎡程度とする ・仕様は(財)日本水泳連盟プール公認規則に定める標準競泳プールに準じる ・水深は公認規則に準じる ・プール本体の素材はFRPとする ・スタート台は着脱式とする ・循環ろ過設備および滅菌装置を設け、水質管理を十分に行えるようにする ・排水口や循環ろ過用吸水口の安全性を確保する ・非常用の取り出し口に濾過器を設置すること。 	
	プールサイド			<ul style="list-style-type: none"> ・床は防滑性の高い材料とし、日射により熱くなりにくい仕様とする ・準備体操ができる広さを確保する ・日除け庇(プールサイド長辺1辺程度)と見学者用ベンチを設置する ・洗体シャワーを設置するほか、車椅子用シャワーも設置する ・周囲からの視線を遮る工夫を行う 	
	プール更衣室(男子+女子)	適宜	2	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・男女別とする ・双方および外部から見透かせない構造とする
	プール器具庫			適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・コースロープなど収納するために十分な広さを確保する
	WC・多目的WC	適宜	2	適宜	<ul style="list-style-type: none"> ・男女別及び多目的WC設置する
	階段				<ul style="list-style-type: none"> ・プールを上階に設置する場合は単独で1階まで避難が可能な直通階段を設置する
	プール棟面積合計			150.0	

